

静岡市立清水病院経営計画 ～地域完結型医療をめざして～ (H27～H30) 【案】 概要版

1 現状

(1) 国の動向

- ★ 2025年の超高齢社会に向けて、医療機関の機能分化
  - ・連携を推進
- ★ 高度急性期から在宅医療を地域で提供する体制の整備
- ★ 7:1病床の削減と「地域包括ケアを支援する病床」の新設

(2) 清水病院の現状

- ★ 病床数 500床  
(急性期病床：446床 回復期リハビリテーション病床：54床)
- ★ 標榜科 26診療科
- ★ 来院患者は清水区内が中心
  - ・入院患者 96% ・外来患者 94%
- ★ 患者の半数以上が65才以上の高齢者
- ★ 清水区3公的病院における清水病院の占める割合
  - ・入院患者 59% ・外来患者 70%
- ★ 医師不足 常勤医師退職により前年比 △5人 ※11/1現在
- ★ 看護師不足 離職者補充が困難 前年比 △12人
- ★ 1日当り患者数等の減少 (単位:人)

		H25	H26.8迄	増減
入院患者数	一般病床	333.9	310.1	△ 23.8
	回復期リハビリ	34.3	31.3	△ 3.0
	全体	368.2	341.4	△ 26.8
外来患者数		926.2	810.7	△ 115.5

- ★ 平成元年に建設された本館が築25年を超え老朽化

2 現状を踏まえた課題

医師、看護師等の医療スタッフの確保

清水区の拠点病院として、

- ・急性期機能の維持
- ・救急受け入れ体制の強化
- ・病診・病病連携の強化
- ・高度医療機器の更新
- ・地域完結型医療の実現

超高齢社会に対応するため、需要の高まる医療の提供体制の確立

施設の老朽化への対応

3 清水病院の役割

清水区の急性期医療を担う基幹病院

地域住民の医療ニーズに沿った最適な医療を安定的かつ継続的に提供

清水区の地域医療支援病院

- ・病病連携、病診連携の推進
- ・清水区の診療所、在宅医療の支援

清水区の二次救急の中核病院

- ・集中治療室稼働6床、H27.4～
- ・救急受入体制の充実

市内公的病院で唯一回復期リハビリテーション病棟を持つ病院

これまでの実績やノウハウを生かしたりハビリ体制の強化

清水区の災害拠点病院

住民が安心して暮らせるよう災害時医療体制の充実

4 目指す方向性

急性期医療体制の維持と強化

- ① 急性期医療体制の維持・強化
- ② 集中治療室の開設
- ③ 救急医療体制の強化
- ④ 高度医療機器の計画的整備

超高齢社会に対応した医療提供

- ① 早期在宅化の推進
  - ・急性期、回復期リハビリ機能の充実
  - ・医療福祉相談業務の強化
- ② 総合診療医の育成及び招聘

地域連携の推進と地域包括ケアの充実

- ① 地域の医療機関、開業医、関係機関等との連携
  - ・紹介率、逆紹介率の維持・向上
  - ・専門外来への特化
  - ・急性期後の患者の受け入れ体制を確保